

病院の中では様々な職種の方が働いています。今回は臨床検査部の方に話を聞いてみました。

病院のお仕事

臨床検査部編

Q1. 臨床検査部の業務について、主にどのような仕事をしていますか？

患者様の血液や尿、便などを分析する検体検査と、心電図や超音波の検査をする生体(生理)検査が主な仕事です。その他に内視鏡補助業務や採血業務も行っています。また、新型コロナウイルス感染症のピーク時はPCR検査、抗原定量検査をフル稼働で対応しました。



Q2. 患者さんに接する上で心がけていることはありますか？

「笑顔」です。生理検査室に来られた患者様が、私たちスタッフの顔を見るだけで安心できるような環境づくりを目指しています。また、検体検査室では院内、医師会関連施設、市民健康管理センターからお預かりした検体を正確、迅速に検査し「異常値が出た際はいち早く結果をお伝えする」ことを心がけています。



Q3. 患者さんへメッセージをお願いします。

早めに検査を受けましょう。もし、当院の検査のことで分からない事や、心配に思うことがありましたらお気軽にご相談下さい。

患者さんに快適に過ごして頂けるように

少しでも患者さんに居心地よく過ごして頂きたいとの想いから、6月より一階受付前のロビーと外来待合所のソファを交換しました。ビタミンカラーで明るい印象になりました。座り心地も◎です。



(寄付金の一部を使用しています)

また、病棟ではマットレスも順次入れ替えを行っています。今まで使用していたものより耐圧分散にすぐれたマットレスになっています。



石仏ねっと便利



石仏ねっと登録者数
24,873名
令和5年7月31日現在

ちよこ 脳トレ ひとつだけ違う漢字を探そう

九九九九九九九九
九九九九丸九九九
九九九九九九九九
九九九九九九九九



白杵市医師会立コスモス病院 広報誌

コスモスの風

活躍する認知症ケアチーム

医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務理学療法士、言語聴覚士で結成しています

認知症ケアチームができるまで

白杵市の高齢化に伴い、当院に入院して来られる患者さんにも認知症のある方が増加してきました。認知症の方が安心して入院を継続するためにはそばに寄り添う必要があるのですが、業務が複雑化している中での対応となり、病院スタッフは悲鳴を上げていました。

そこで2018年、認知症看護認定看護師を目指す看護師が現れたこと、下田院長の「少しでも早く認知症患者さんのために適切な対応ができるようになり、院内の環境も改善できれば」という声を発端に多職種が集まり、認知症の人が安心して入院生活を送れることを目的とした認知症ケアチームが結成されました。

当時、当院には認知症の専門医が常勤しておらず、外来の神経内科医に相談していました。しかし新規の外来受診を希望する患者さんが多く3ヶ月以上おまたせすることもあり、少しでも認知症ケアチームで対応することのできる体制づくりが必要だと感じるようになりました。



認知症ケアチームの活動

認知症ケアチームの主な活動内容は、週1回1時間程度の病棟ラウンドです。多職種の専門的視点から対応方法を検討し、薬剤のことや患者さんへの関わり方等を病棟スタッフに助言しています。

必要時には認知機能の評価や神経内科医へ相談するべきか判断することもあります。そして、月に1回の会議を開催し、活動内容の課題を話し合っています。勉強会を開催することもあり、対応能力の向上にも努めています。

このような活動を地道に続けてきたことで、今まで外来の神経内科医に相談していた認知症の患者さんの対応を認知症ケアチームで担うことも多くなってきました。



今後の目標について

認知症のある人が安心して穏やかに過ごせるような環境作りを目指しています。

そこで、院内デイケアの立ち上げの必要性を感じています。先日、熊本県の谷田病院に院内デイケアについて話を伺ってきました。「デイケアでは、ミトンなどで抑制している手が作業する手になる」という話に感銘を受け、当院でも実現したいと考えています。

そして、地域の認知症のある人や家族、それに関わる関係者の相談窓口になりたいとも考えています。入院したことで、初めて患者さんに認知症があることを知った家族や、認知症の対応が分からないまま相談できずにいた家族をみしてきました。そのような方たちに対し、相談や助言を行うことが出来れば、入院した際の早期対応にも繋がり、予防的な活動になると考えています。

昨年度より神経内科の専門医が常勤として当院に赴任するようになりました。認知症ケアチームと神経内科医で力を合わせ、認知症のある人やその家族、関係者の皆様が安心してコスモス病院に入院できるよう、より一層努力していきたいです。

認知症になっても安心して過ごせる地域の実現のため、認知症ケアチームはこれからも地域から信頼される一員となれるよう、日々精進していきます。

認知症看護認定看護師 高橋鉄平

リハビリテーション部出前講座のご案内



当院リハビリテーション部では、病気や介護、運動について『出前講座』を行っています。今年度より言語聴覚士による、飲み込みや発話の講座も始まりました！

「これからもご飯を美味しく食べ続けたい」
「口の体操ってどんなものがあるの？」

などのお悩みについて、実技も交えてお話しします！
出前講座のお申し込みは・・・

☎ 0972-62-5885
コスモス病院 地域連携室まで

口を大きく、大げさに動かすとGOOD!

やってみよう!

パタカラ体操

「おしゃべり中に舌がもつれる」「食事中に咳払いする事が増えた」という方におすすめです。



口を閉じる力



押しつぶす力



飲み込む力



まとめる力

ゆっくり大きく3セット、早く正確に2セットの計5セットが基本です

下田院長が大分県医師会より表彰されました

先日、下田院長が「医学の振興について功績顕著なる者」として、大分県医師会より表彰されました。臼杵市民の健康向上につながるように行っている出前講座やケーブルテレビの出演について、高い評価を得て今回の表彰となりました。出前講座は平成28年度から令和4年度までになんと137回開催されています。



地域の皆様に心から感謝申し上げます

院長 下田勝広

今回思いがけず大分県医師会から表彰していただき大変驚いております。少しでも地域の皆様の医療啓発にお役に立てればと始めた出前「健康講話」ですが、私にとっては地域で生活されている皆様方のところに向いて笑顔の中で触れ合えることは大きな楽しみでもあります。医師会の先生方や病院スタッフの支えはもちろんのことですが、私のつたない話にもかかわらず多くの健康講話を依頼していただいた皆様方に心から感謝申し上げます。これからも皆様の健康作りに貢献できるよう元気に向いてまいりますので、宜しくお願い致します。



わくわく病院探検隊！

7月29日に「わくわく病院探検隊！」を行いました。地元小学生にむけて「医療の仕事の一端を体験し、医療や介護に興味を持ってもらえるきっかけ作りしてほしい」と夏休み期間中に開催となりました。

探検隊には小学生17名が参加し、スタンプラリー形式でリハビリ部、検査部、薬剤部、放射線部、内視鏡センターを回りました。白衣に身を包み、普段入ることのできない場所に入って実際に使用されている機材に触れてみたり、実際に車いすを使用し操作の難しさを実感したりと楽しく医療に触れた1日になったようでした。

次回も開催が予定されていますので、興味のある方はぜひご参加ください。



薬剤部で処方体験 /



内視鏡室で医療機器操作体験 /

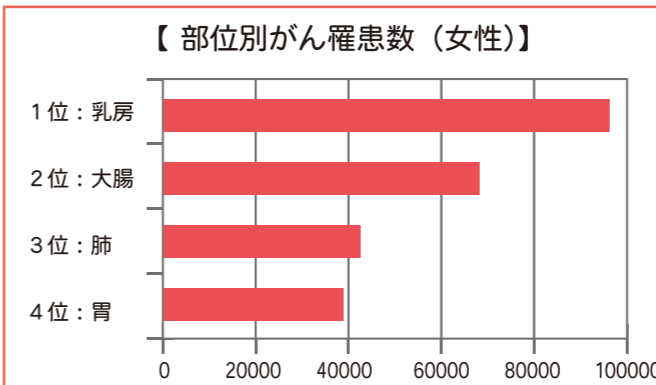


検査室でエコー検査体験 /

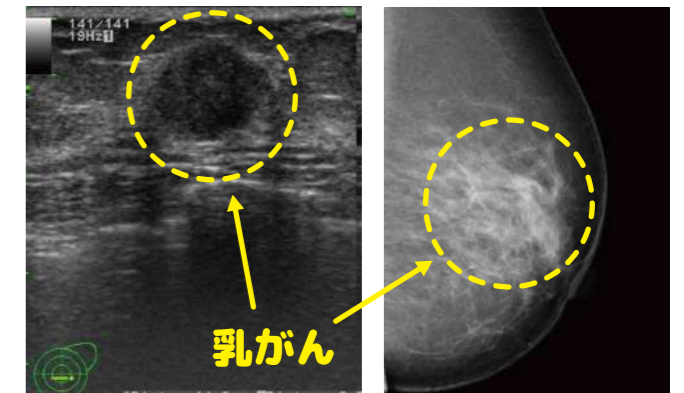


乳がん検診を受けましょう！

女性のがん罹患率は、乳がんが第1位です。乳がん検診を受けて早期発見につなげましょう。



資料：国立研究開発法人国立がん研究センターより（2019年）



【 臼杵市がん検診の補助をご希望される方 】

項目	マンモグラフィ (乳房 X 線撮影)	乳房超音波 (エコー)
対象	臼杵市民 40歳以上 偶数年齢 (年度年齢) の方	臼杵市民 20歳以上の方
金額	1,000円 (通常料金 5,400円)	700円 (通常料金 3,240円)

検査は
女性技師
が対応します

【健康診断についてのお問い合わせ】 臼杵市医師会立市民健康管理センター ☎0972-62-2526